



小江原小学校だより

## 光満つ丘・空と風

令和6年7月10日号

文責：秋山壽哉



### 「いのちは『ほうせき』」

ご案内いたしました通り6月25日(火)から7月1日(月)までの1週間、本校における「長崎っ子の心を見つめる」教育週間としての取組を展開しました。

保護者やご家族、地域、幼稚園・保育所、中学校など多くの皆さまにご来校いただき、小江原っ子の頑張る姿をご覧いただくことができました。

のべ280名もの方にご来校いただきました。誠にありがとうございました。

また、子どもたちの安全を確保するため、育友会執行部並びに評議員をはじめとする保護者の皆さまには、朝早くから受付を担当していただきました。お陰様で、子どもたちは安心して学校公開を終えることができました。重ねて、お礼申し上げます。

### 「いのちは『ほうせき』」

これは、6月25日の全校朝会において、校長が小江原っ子に伝えたメッセージです。

### いのちは「ほうせき」

ほかの人と取りかえることができない

うまれる前からだいにじにされている

せかいにたったひとつだけの

きせき(奇跡・輝石)、きぼう(希望)

以前、私が教頭時代に出会った「こはねさん」のことを子どもたちに話しました。

こはねさんは、享年12歳・・・病気のため、ご逝去されました。自分の命の灯が消える間際まで、学級の仲間と過ごし、互いに心を通わせ合っていました。

自分がもっている  
自分の時間

それが、自分のいのち



全ての小江原っ子が、校長の話に耳を傾け、真剣に聞いていました。

「小江原っ子の一人一人が、未来への『希望』なのです。宝石のように、きらきらと『いのち』を輝かせてください。」

6月26日(水)の午後に「子どもを守るネットワーク・パトロール」が行われました。パトロールには、地域や保護者の皆さま、そして明治安田生命の「見守り隊」の方々もご参加くださり、多くの目で、小江原っ子の安全を見守っていただきました。ありがとうございました。



そして、6月29日(土)には土曜授業を行い、「いのち」の尊さやかけがえのなさ、輝きに関する道徳科の授業を公開しました。引き続き、地震発生を想定した避難訓練と引き渡し訓練を実施し、「いのちを守る」具体的な方法について学びました。皆さまのご協力に心から感謝申し上げます。

- どの学年も、子どもたちが落ち着いて勉強している姿に感動し、安心しました。
- 「新しい小江原小学校」その意味が、分かってきました。これからも、よろしく願います。  
～お届けいただいたお声の一部です～

これからも、子どもたちと共に、そして保護者や地域の皆さまと手を携えながら「新しい小江原小学校」を創ってまいります。

